

# 南陵快速進撃

令和5年10月25日(水)～26日(金)に「第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会」が盛大に開催されました。熊本県での全国大会開催は第23回大会以来51年ぶりです。今大会には、全47都道府県で農業について学ぶ約75,000人の学校農業クラブ員の代表者が熊本に集結しました。

大会では6つの競技会と2つの学校農業クラブ関連会議が行われました。特に今大会では、公開競技である家畜審査競技会と農業情報処理競技会の2つが開催され、例年より多くのクラブ員の皆さんが参加できた大会となりました。

そして、本校をはじめとする熊本県連盟11校1分校がそれぞれの運営を担当し、無事に全国大会を成功させることができました。



## 第74回日本学校農業クラブ連盟全国大会 令和5年度熊本大会

大会コンソर्टが「農の力で、絆を深めよう・つなげよう・広めよう」で開催された今大会。南陵高校は代表委員会の運営を担当しました。代表委員会は、総合農業科3年杉本翔真さんを実施委員長として開催されました。代表委員会では、全国から寄せられた質疑や意見等について活発に議論されました。これからの学校農業クラブ活動がより良いものとなるように話を深められた秋季代表委員会は、充実したものになったのではないかと考えます。会が始まる前や休憩時間には、全国から集まった代表委員同士での名刺交換や談話をしている姿がありました。会議を通して互いの学びを深めるとともに、クラブ員の絆・友情が深まった大会となりました。

南陵高校  
育友会会報

# 至誠

発行所  
熊本県球磨郡あさぎり町  
上北310  
南陵高等学校  
育友会広報委員会  
第69号

第74回日本学校農業クラブ連盟全国大会令和5年度熊本大会農業鑑定競技会 日頃の専門的学習の成果を競う『農業鑑定競技会』に、熊本県代表として7名の生徒が出場し、4名が優秀賞を獲得しました！		《優秀賞受賞》	
総合農業科3年1組	犬童 尋斗 さん (畜産の部)	総合農業科2年	西 彩名 さん (農業土木の部)
総合農業科3年1組	島崎 優雅 さん (森林の部)	総合農業科2年	前村 京威 さん (農業土木の部)
総合農業科3年2組	平野 秀太郎さん (森林の部)	生活経営科2年	上村 菜都 さん (生活の部)
食品科学科3年	福田 宇海 さん (食品の部)		



令和5年10月25日(水)～26日(木)にかけて「第74回日本学校農業クラブ連盟全国大会令和5年度熊本大会」が熊本県で開催されました。本校からは、農業鑑定競技会に県大会を勝ち抜いた7名の生徒が参加しました。

「農業高校の甲子園」とも称される同大会の農業鑑定競技会は、農業や園芸、畜産、食品、森林、農業土木、造園、生活

の8部門で競われ、全国から約1,000名の生徒が出場しました。農業鑑定競技とは、農業の各分野で使用される器具の名称や用途、生物・植物の実物や写真などから判定診断、木材の材積を計算する問題等に限られた時間内で答え、その正答率を競うものです。まさに、日ごろの学習で身に着けた知識や技術の成果を試す競技となりました。また、競技の結果、惜しくも日本一の栄冠に輝くことはできませんでしたが、参加した4人の生徒が優秀賞に入賞しました。

参加した生徒は、以下のように感想を述べていました。

犬童さん：「緊張でいっぱいでしたが、沢山の方々のサポートのおかげで入賞できました。」

島崎さん：「来年度は今年までの恩を返せるように、最優秀賞に向けて一杯努力したい。」

平野さん：「最優秀賞を目指していたので、悔いが残る結果となりました。鑑定競技は私の青春です。」

福田さん：「感謝の気持ちを忘れずに、これからは自分の進路に向けて歩んでいきます。」

西さん：「来年度は今年までの恩を返せるように、最優秀賞に向けて一杯努力したい。」

前村さん：「明らかに県大会とは違う雰囲気です。来年度は最優秀賞を目指します。」

上村さん：「力を出し切れなかった分は来年度リベンジして、最優秀賞を目指します。」

来年度の農業クラブ全国大会（岩手大会）では、南陵高校から日本一！夢に向かって努力を重ねていきましょう。



### 第74回日本学校農業クラブ連盟発表大会 意見発表会 分野I類 (生産・流通・経営) 最優秀賞受賞

令和5年度第66回九州学校農業クラブ連盟発表大会  
意見発表会 分野I類 (生産・流通・経営) 最優秀賞受賞  
第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会  
意見発表会 分野I類 (生産・流通・経営) 優秀賞受賞

総合農業科2年 池上姫加梨 さん

総合農業科2年の池上姫加梨さんが令和5年10月25日(水)に開催された「第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会」意見発表会分野I類(生産・流通・経営)に九州プロック代表として出場し、優秀賞を受賞しました。これまでの農業クラブの歴史の中で、本校から意見発表会で九州大会・全国大会に出場したのは、球磨農業高校時代から旧南陵高校、そして現南陵高校までの121年を振り返っても初めてのことでした。発表のタイトルは「地域とつなぐ三代の絆」。その内容は家業である畜産業(黒毛和種繁殖経営農家)や学校でのウシを中心とした学びについて述べたものでした。特に地域の支えの中で祖父と父と共に取り組んだ第12回全国和牛能力共進会への取り組みや、学校で取り組んだ繁殖牛の分娩間隔の調査や担当牛との関わり、体型審査の学習等が中心です。さらに、それぞれの活動から学んだことや感じたことをとおして、将来の自分の姿を構築していくものでした。

大会本番の発表順は1番。緊迫した空気の中、池上さんは練習してきたとおりステージに上がり、自己ベストといえる素晴らしい発表をしました。結果は翌日、熊本城ホールで行われた大会式典の中で発表されました。優秀賞という結果に満足できず、悔し涙を流す池上さんの姿からウシに対する誠実な思いや、意見発表に向けて取り組んできた真剣さを感じました。

池上さんの発表は、南陵高校や人吉球磨地域が全国大会で評価されるような活動ができる場所であることを証明してくれました。今後多くの生徒が地域や学校での活動をとおして成長すること、夢をつかむことを期待します！

# Festival

# 南稜祭

## 11月10・11日

11月10日(金)～11日(土)の2日間で南稜祭が開催されました。1日目のスナーズ発表では、学習成果発表として学科、部活動、クラスなど素晴らしい発表が行われ盛大に盛り上がりました。2日目は、実習製品販売やクラス食品バザー、展示紹介などを行い保護者、OB、地域の方々が大勢来校され大成功に終えることができました。企画、運営を中心に行ってくれた生徒会の皆さん大変お疲れ様でした。





### ポラントニア部

#### 「スボGOM甲子園全国大会」に出場!

ポラントニア部員の2年生、告本花菜さん、田上友也さん、中原有規さんの3名が、11月12日(日)に東京都墨田区で開催された「スボGOM1甲子園全国大会」に出場しました。この大会は、高校生3人での代表チームが各都道府県から1チームずつ出場し、45分間の制限時間内に定められたエリアで拾い集めたゴミの質と量によるポイントを競うものです。先立って8月19日(日)に開催された熊本大会で優勝し、全国大会の出場権を手に入れました。

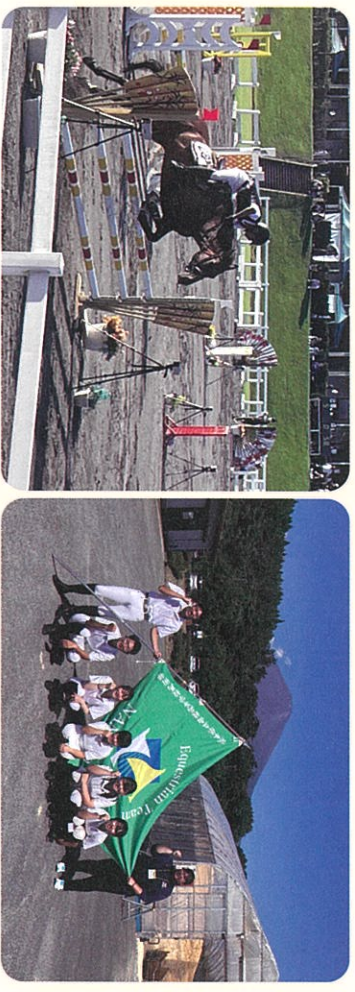
また、告本花菜さんは熊本県青少年赤十字高校生メンバースターの代表にも選ばれ、国立オリンピック記念青少年総合センターで11月23日(木)から4日間開催された「青少年赤十字国際交流事業」にも参加しました。



### 馬術部

#### 第57回全日本高等学校馬術競技大会に出場!

本校は2年ぶりに九州地区の代表として標記大会に参加しました。初戦を勝ち上がることはできませんでしたが、選手たちは良く頑張ってくれて現在の南陵高校馬術部のもてる力は出し切りました。この経験を来年、同じ舞台で歓喜に変えられるよう日々の練習を頑張ります。応援やサポートをいただいた皆様ありがとうございました。



### バレー部

#### ～ 捲土重来 ～

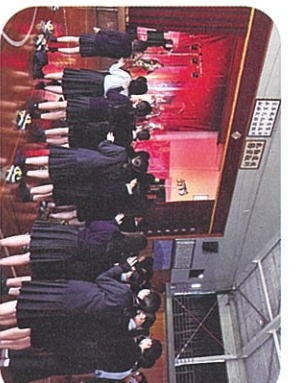
男女バレー部は、11月4日(日)に行われた令和5年度農業関係高等学校バレーボール交流大会に参加しました。男子チームは熊本農業戦で28-26、29-27、25-20とフルセットを制するなどすべての試合で勝利し、優勝トロフィーを手にすることができたことをうれしく思います。女子チームは惜しくも初勝利とはなりませんでしたが、練習の成果を発揮し新たな課題を見つけることができました。今後もバレーボールを楽しみ、互いに切磋琢磨しながら練習に励んでいきたいと思えます。



### 芸術鑑賞

#### ～トッパダンサーとの生徒のコラボダンス公演～

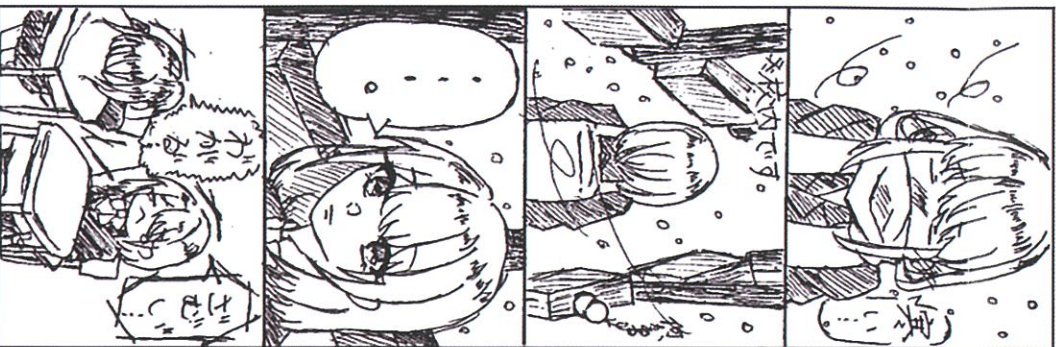
11月8日(木) 5・6限目に芸術鑑賞を実施しました。今年度は、「トッパダンサーとの生徒のコラボダンス公演」という題目で、インストラクターやアーティストのバックダンサー、モデル等で大活躍の5人のトッパダンサーに来ていただきました。息がぴったり合った迫力のあるパフォーマンスを間近で見ることができました。生徒も一緒にダンスをしたり、ダンスの歴史についても学ぶことができました。ダンサーと生徒が一体となって楽しむことができ、終始盛り上がる芸術鑑賞となりました。



### 文芸部

#### 南陵あるある

#### №13 「校内寒すぎ!!」



21 奥園 瑠綺亜

### 保護者の快進撃

#### PTA実践発表会 結果報告

10月21日(土)に芦北高校で開催された、熊本県公立高等学校城南地区指導者研究大会に参加しました。進路指導とPTA活動について、南陵高校の歴史を踏まえながら育友会としての活動や地域と学校の連携、生徒たちとの関わりを発表しました。その後、「芦北高校空手部総監督の益辰信様の講演があり、「三位一体(やる人・支える人・見守る人)」学校・家庭・地域が子供たちに関わり、サポートをしていくことでお互いに色々な経験ができ、繋がりを感ずることが成長に繋がっていくことを教えていただきました。

また、城南大会は県大会への選考会でもあり、私たち育友会は見事県大会への切符を手にし、11月25日(日)に熊本市富合ホールにて開催された、熊本県公立高等学校PTA秋季研修会PTA実践発表会にも参加してきました。城南地区代表として南陵高校の良さを精一杯発表して参りました。そして、今回も見事に来年6月にある九州大会への出場を手に入れました。育友会参加の進路指導や、企業訪問、南陵祭等の学校・家庭・地域との連携や関わりについて高く評価されました。評師を踏まえ、保護者としても子供や学校に興味を持ち、一緒に学び成長していくことが必要と改めて感じた大会でした。

来年度の九州大会でも、南陵高校の良さをしっかりと発表したいと思います。



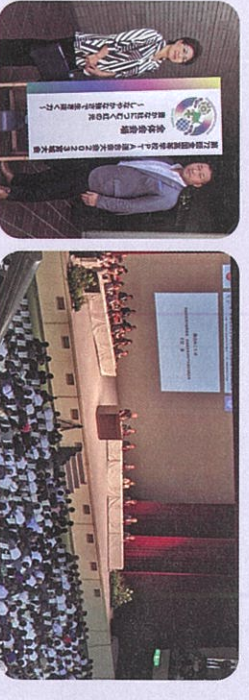
#### 第72回全国高等学校PTA連合会2023宮城大会～報告～

8月23日(火)～25日(木)にPTA連合会宮城大会に熊本県勢約100名で参加させて頂きました。

初日は東日本大震災の視察で名取市関上(ゆりあげ)地区日和山に行きました。津波の高さ8メートル…語り部さんのお話を聞きながら3年前の人吉球磨豪雨災害を思い出し、水の怖さと命を守る行動の大切さを再確認しました。

大会の記念講演は仙台育英野球部・須江航監督の講演でした。『伝わる言葉～失敗から学ぶ～』の演題で、情報過多の秒ごとに移り変わる現代、多様性の時代。今の高校生に私たち大人は何をどう伝えたいか。人生は敗者復活戦。他者や自分の失敗から学ぶことが大切。現代の子供たちは叱られる耐性がないから、むやみに怒ってもダメ。出来ないことは叱らず「こうしたら、こう出来るよ」と短所を丁寧に対処して、自己理解できるように予告してあげる事が大切だと教えて頂きました。なかなか難しい事ですが子供が大人になって迷った時に「あの時こんな風に言われたな…」と思考が帰ってくる場所を作ってあげられたら良いなと思えました。

柔軟な心を持ち「みんな違ってみんな良い」価値観が違うことを面白いと思える大人に育って欲しいです。このような素晴らしい経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。



至誠を通して、保護者や子どもに様々な行事が開催できたのも、子ども達の学校生活での頑張りや先生方の協力があったのも、広報委員

共々一致団結し活躍する姿を見せる事が出来ました。こうして無事な事が出来ました。また、PTA実践発表会においても、城南大会を経て、県大会でも最優秀賞をいただき、来年度九州大会で発表する事になっていきます。

「至誠」69号をお読みいただきありがとうございます。2学期は農業クラブ全国大会が熊本で開催され、本校も素晴らしい結果を残す事が出来ました。また、PTA行事が出来ました。また、PTA

編集後記

南陵高校のHPへアクセス!

QRコード

3学期の主な行事

1月 9日 始業式

2月 25日(30日) 3年年生末考査

2月 1日(28日) 3年家庭学習

2月 9日(16日) 1:2年学年末考査

3月 1日 卒業式・燃灯入式

3月 22日 修了式

※各日程については予定であり、変更になる場合がございます。